

資料① 重点課題

生活環境整備部会【策定本部】

	重点課題 （目指すこと）	やるべきこと	
		取組の方向性	取組の例
都市景観	市民の景観形成への主体的な参加を促進すること	景観意識の高揚	意識啓発活動
	地域特性に応じた景観づくりを行うこと	地域資源を活かした景観の保全・創出	景観の規制誘導
防災	災害による被害を最小限に抑えること	防災体制の強化	防災意識の普及・高揚 地域の防災力の向上 災害応急体制の整備
	迅速，かつ適切な消防活動を行うとともに救命効果を高めること	消防力・救急救助体制の強化	消防本部・消防署の機能強化 消防団の充実
	災害に対する都市の安全性を高めること	都市基盤の防災性の強化	公共建築物等の耐震化 密集市街地の基盤整備

生活環境整備分科会【市民会議】

課題の背景・主な理由	重点課題 （目指すこと）	やるべきこと
・ 昨年夏、文藝春秋に掲載された「日本の醜い景観」ワースト1の汚名を返上したい。 ・ すべての市民の誇りとして共有できるような心象景観を創造したい。	③景観文化意識の高揚	・ 規制と規制緩和の使い分け ・ 市民参加型の景観評価の機会を増やす。例：公共建造物はもちろん、民間開発のものでも特定エリアで一定以上の規模を有する場合などにコミットできるような検討・審査会をつくる。（まちづくり条例の制定による、市民の参加機会の保障） ・ 景観文化意識醸成（出前講座の活用推進、学校教育との連携）

生活環境・自然環境保全	より多くの市民が環境保全行動に取り組むこと	環境保全行動の推進	環境学習の推進 環境管理活動の推進 環境情報の提供	・宇都宮市では家庭版 ISO, 学校版 ISO など先進的な取組みがみられる。これらの徹底周知をはかり、もっと広く個人レベルへ浸透させたい。	④環境施策の個人レベルへの浸透	・家庭版 ISO などのブランド化。安易に外部委託せずそのブランド性と信頼性をより高めていく。 ・市民の義務としての認識を高める（教育サイドからの仕掛け）
	温室効果ガスの排出抑制に関する取組を強化すること	地球温暖化対策の推進	省エネ・省資源の取組推進 新エネルギーの普及・促進			
	豊かな自然環境と公害のない生活環境を守っていくこと	身近な生活環境と自然環境の確保	大気や水質等の汚染・汚濁の未然防止 自然環境の保全と活用			
生活衛生	安全な食生活を送れるようにすること	食品の安全管理体制の強化	食品衛生指導の充実 情報提供			
	快適で衛生的な生活を確保すること	衛生施設の機能等の充実	墓地，斎場の整備			
	生命，健康を脅かす事態の発生に，迅速かつ的確に対処すること	健康危機管理対策の推進	管理体制の整備			
資源循環型社会	限りある資源を有効に活用すること	ごみの発生抑制，減量化，資源化の推進	意識啓発活動の展開 ごみ分別の徹底・拡大			
	廃棄物処理に伴う環境負荷を最小限に抑えること	廃棄物の適正な処理の推進	廃棄物処理施設の整備 不法投棄防止対策			
都市緑化	緑を育成・確保していくこと	緑化・緑地保全活動の推進	都市緑化施策の強化 樹林地の復元			
	緑に親しむ環境を創出すること	緑の拠点づくりの推進	民意を反映した公園の整備 公園緑地の適正管理 公園情報の提供			

住環境	誰もが快適に住めるようにすること	快適な住宅の供給と取得支援の充実	特優賃の推進 市営住宅の供給 取得支援制度
	安全で環境にやさしい住宅を確保すること	住宅の安全性・環境性の向上	耐震化や省エネ化の住宅整備の促進
	快適な生活を送ることのできる良好な居住環境を形成すること	居住環境の向上	地区計画等の活用 土地区画整理事業の推進 市街地再開発事業の促進
道路環境	歩いて楽しい道路環境を創出すること	回遊性の高い道路整備の推進	都心部道路景観整備 (電線類地中化・バリアフリー整備)
	円滑な道路交通を確保すること	幹線道路ネットワークの充実	都市計画道路の整備 幹線市道の整備
	安全で快適な道路環境を創出すること	適切な道路機能の確保	道路のバリアフリーの推進 生活道路の整備推進 交差点の改良 計画的な道路，橋りょうの維持管理

・まちなかはマンションラッシュとなっているが、居住者が暮らしやすい生活基盤は保障されているか。コミュニティとのつながりも薄れているのではないかな。 ・放置されたままの空き店舗、空き家、空き教室、空きオフィスを有効に活用したい。 ・市独特の資源やまちなかの魅力が十分に発信されていない。	②住環境整備とコミュニティづくり（主にまちなか）	・街なかでのステキなライフスタイルを提案できるような基盤整備。 ・歩ける範囲における生活基盤の充実整備。 ・街なかの資源（大谷石、ライブハウス、飲み屋街など）を活用した新たな街暮らし文化の創出。 ・上記の拠点となるようなコミュニティセンターや公営住宅供給（新築より既存ストックの活用）ミクストハウジング、コレクティブハウジング推進→若い建築家からのアイディア募集

上水道	市民が安心して利用できる信頼性の高い水道水を供給すること	水道水の高品質化	水質管理体制の充実 給配水システムの充実			
	将来にわたって市民の水需要に適切に対応すること	安定給水の確保	災害や事故に強い水道の整備 安定供給に向けた施設機能の充実 安定水源の確保			
下水道	衛生的な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図ること	生活排水の適正処理の推進	生活排水処理基本計画の推進 合流式下水道の機能改善 下水処理施設の整備			
	雨水による浸水被害を解消すること	雨水対策の推進	公共下水道雨水整備計画の推進 雨水流出抑制対策の推進			
	常に適正な下水道処理施設の機能を確保すること	下水道の適正管理	下水道施設の適正な維持管理 老朽化した下水道施設の計画的な改築更新			
	下水処理における環境負荷を低減すること	下水道資源の有効活用	汚泥の有効活用 処理水などの再利用			
河川	自然環境と調和のとれた快適な河川環境を創出すること	環境に配慮した河川整備の推進	多自然型川づくりの推進 親しめる水辺空間の創出			

	河川の治水機能の向上を図ること	治水対策の推進	河川の改修 雨水流出抑制など流域対策の推進
交通安全	安全で安心して利用できる道路環境を確保すること	道路交通環境の向上	歩道や交通安全施設の整備 放置自転車対策
	市民が交通事故にあわない，起こさないという行動をとるようにすること	交通安全意識の向上	交通安全教育の充実
	—	—	—

・ LRT 導入が先んじ、既存バスシステムなどの見直しがなされてない。 ・ 近年バスの本数は増えているが、乗客数は減少。また JR 駅を基点としているため路線重複・乗換え・料金など非効率な部分が多い。 ・ 今後増大する高齢者の暮らしやすさだけでなく、彼等が社会資源として活躍できるためにもアクティビティの機会を保障しておく必要がある。 ・ 自転車都市・宇都宮ならではの特徴を生かした交通ネットワークづくりができないか。	①生活者・利用者の視点にたった公共交通ネットワークの充実	・ まちづくり全体をみすえたビジョンのもと、乗用車・バス・LRT・自転車・歩行者などのすみわけと連携、また広い市域を濃淡をつけてカバーできる交通システムを構築する。 ・ IT を活用したリアルタイム乗換え案内（バス） ・ 公共交通チケット統一システム ・ パークアンドライド（車＋公共交通、自転車＋公共交通） ・ コミュニティ単位のミニバス（コミュニティで運営） ・ 宮環における循環バス ・ 既存バス会社の調整。場合によっては市バスも検討。 ・ 歩・車・自・バスのすみわけの明確化

